

心臓センター(心臓血管外科 不整脈科 循環器内科)

(1) スタッフ

心臓センター長・循環器内科主任部長：猪子森明

専門：虚血性心疾患・心不全

資格：医学博士・京都大学医学部臨床教授・徳島大学医学部臨床教授・日本内科学会認定総合内科専門医（指導医）・日本循環器学会認定循環器専門医・日本心血管インターベンション治療学会（CVIT）認定名誉専門医（指導医）・日本救急医学会 ICLS インストラクター・日本内科学会 JMECC インストラクター・日本内科学会近畿支部評議員・日本循環器学会近畿支部評議員

心臓血管外科部長：金光ひでお

専門：成人心臓大血管・末梢血管の外科治療

資格：医学博士・京都大学医学部臨床教授・日本外科学会専門医・心臓血管外科専門医・日本外科学会指導医・心臓血管外科専門医認定機構修練指導医・日本循環器学会認定循環器専門医

心臓血管外科特任部長：荻野均

専門：心臓血管外科全般

資格：医学博士・東京医科大学心臓血管外科学分野客員教授（元主任教授）・外科専門医（修練指導医）・心臓血管外科専門医（修練指導医）・日本循環器学会認定循環器専門医・脈管専門医

不整脈科主任部長：春名徹也

専門：不整脈・心不全・ペースメーカー・植込み型心臓除細動器・心臓再同期療法植込み手術

資格：医学博士・日本内科学会認定総合内科専門医（指導医）・日本循環器学会認定循環器専門医・日本不整脈心電学会認定不整脈専門医・植込み型心臓除細動器（ICD）・心臓再同期療法治療（CRT）研修修了登録医・リード抜去実施医・経皮的左心耳閉鎖術実施医
日本内科学会近畿支部評議員・日本循環器学会近畿支部評議員

循環器内部長：中根英策

専門：心不全・心不全チーム医療・心臓リハビリテーション・自律神経心臓病学

資格：日本循環器学会認定循環器専門医・日本内科学会認定内科医（指導医）・日本心臓リハビリテーション学会評議員・日本心臓リハビリテーション学会近畿支部評議員・日本循環器学会近畿支部評議委員・日本循環器学会心不全療養指導士実務部会委員・心臓リハビリ指導医・緩和ケア研修会修了

循環器内科副部長：福田弘毅

専門：循環器内科（虚血性心疾患・心不全）

資格：医学博士・日本内科学会認定総合内科専門医（指導医）・日本循環器学会認定循環器専門医・日本心血管インターベンション治療学会認定医・心臓リハビリテーション指導医

循環器内科副部長：山地雄平

専門：虚血性心疾患・末梢動脈疾患のカテーテルインターベンション

資格：日本内科学会認定内科医・日本循環器学会専門医・日本心血管インターベンション治療学会（CVIT）認定専門医

心臓血管外科副部長：森島学

専門：成人心臓血管外科・末梢血管の外科治療

資格：日本外科学会専門医・心臓血管外科学会専門医

不整脈科副部長：張田健志

専 門：不整脈・カテーテルアブレーション治療・ペースメーカー埋込手術・管理・埋込み型除細動器・心臓再同期療法

資 格：日本内科学会認定総合内科専門医（指導医）・日本循環器学会認定循環器専門医・日本不整脈心電学会認定不整脈専門医・植込み型心臓除細動器（ICD）/CRT 研修終了登録医

循環器内科副部長：北野真理子

専 門：循環器内科（心臓弁膜症・心エコー）

資 格：日本内科学会認定総合内科専門医（指導医）・日本循環器学会認定循環器専門医・日本心血管インターベンション治療学会認定医・日本周術期経食道心エコー認定医（JB-POT）・ヨーロッパ心不全学会専門医・SHD（Structural Heart Disease）心エコー図認証医・心臓リハビリテーション指導医・心エコー図認証医

循環器内科副部長：柴昌行

専 門：循環器内科（虚血性心疾患・心不全・構造的な心疾患）、集中治療

資 格：医学博士・日本内科学会認定総合内科専門医（指導医）・日本循環器学会認定循環器専門医・日本心血管インターベンション治療学会認定医・日本集中治療医学会集中治療専門医

不整脈科医員：木村光輝

専 門：不整脈・カテーテルアブレーション治療・ペースメーカー埋込手術・管理・埋込み型除細動器・心臓再同期療法・心臓デバイスリード抜去手術

資 格：日本内科学会認定内科医・日本循環器学会認定循環器専門医・日本不整脈心電学会認定不整脈専門医・植込み型心臓除細動器（ICD）/CRT 研修終了登録医・リード抜去実施医（Evolution、Glidelight）・経皮的左心耳閉鎖術実施医

循環器内科医員：濱口桃香

専 門：循環器内科（心臓弁膜症・心エコー）

資 格：日本内科学会認定内科医・日本循環器学会認定循環器専門医・日本周術期経食道心エコー認定医（JB-POT）・SHD（Structural Heart Disease）心エコー図認証医・CVIT 認定医・日本超音波医学会超音波専門医

循環器内科医員：河合龍馬（2025 年 1 月～）

専 門：虚血性心疾患・末梢動脈疾患のカテーテルインターベンション

資 格：日本心血管インターベンション治療学会（CVIT）認定医

循環器内科医員：齊藤亘

専 門：虚血性心疾患・末梢動脈疾患のカテーテルインターベンション

資 格：日本内科学会認定内科医

循環器内科医員：山本裕貴

専 門：循環器内科（心臓弁膜症・心エコー）

資 格：日本内科学会認定内科医

循環器内科レジデント：伊堂寺諒

循環器内科レジデント：亀井美奈

（2）概要

北野病院心臓センターは救急からリハビリテーションまでの循環器疾患総合診療（緊急カテーテルを含む救急対応、CCUでの集中治療、循環器内科、不整脈科、心臓血管外科での手術、その

後の内科的治療、心臓リハビリテーション、予防医学の実践)を行っている。また、心臓血管外科と循環器内科と不整脈科は一つのチームとしてカンファレンス、手術、術前術後管理を行い、あらゆる循環器疾患に対応し、先進医療を手掛け、加えて院内から院外にわたっての多職種によるチーム医療を構築して、全人的な医療を実践する指導的なセンターたることを目標に日々研鑽を積んでいる。

(3) 各分野の活動状況

a) 循環器内科

①経皮的冠動脈インターベンション (PCI) :

PCI 施行に関しては冠動脈 CT 等による冠動脈の解剖学的評価に加えて、運動あるいは薬剤負荷心筋シンチ検査、あるいは冠動脈造影時に計測した FFR (冠血流予備量比) や冠動脈 CT における FFR_{ct} などの機能的評価によって心筋虚血を精査し適応を判断した上で実施している。PCI においてはほとんどの症例で DES (薬剤溶出性ステント) あるいは DCB (薬剤溶出性バルンカテーテル) を使用しており、PCI 前後には IVUS (血管内超音波検査)、OCT (光干渉断層計) を実施して血管性状を評価した上で最適な治療を選択し実施している。高度石灰化病変に対応するためにロータブレード、ダイヤモンドバック、ショックウェーブ、エキシマレーザーを使用しており、左冠動脈主管部分岐部付近の病変に対しては必要に応じて DCA (方向性冠動脈粥腫切除術) を使用している。

②経カテーテル的大動脈弁植込み術 (TAVI)

2024 年 10 月に TAVI を開始し外部指導医の指導から独立でき年間 20 症例以上のペースで実施している。実施症例の平均年齢は 85 歳を超えているが、循環器内科医・インターベンション専門医・心臓外科医・麻酔科医・看護師・放射線科医師/技師などから構成されるハートチームで十分に方針を検討しているおかげで死亡・脳梗塞合併症例を出さずに実施できている。

③下肢動脈インターベンション :

総腸骨動脈から浅大腿動脈に関しては有症状患者に対して血管内治療 (EVT) を行っている。EVT 前後には IVUS (血管内超音波検査) を実施し、血管性状を評価した上で最適な治療 (ステント留置、薬剤溶出性バルンカテーテル) を選択し実施している。重症下肢虚血患者における慢性閉塞病変などの複雑な病変にも積極的に治療を行っている。創傷治癒あるいは下肢切断の際の切断位置を可能な限り末梢側とする目的で、形成外科医師とのチーム医療を行い、EVT と創傷処置を適切に組み合わせて施行している。

④心臓リハビリテーション :

高齢患者に対し身体能力低下を防止するために可及的早期から離床リハビリを行っている。運動療法が可能な患者には心肺運動などの負荷試験を施行して運動処方を作成し、具体的に個別指導を行っている。退院後、ADL が低下する可能性が高く、外来リハビリ参加が困難な患者に対しては、急性期病院から在宅生活への復帰を円滑に運ぶ目的で在宅心臓リハビリテーションを実施している。また、週 1 回多職種で心臓リハビリカンファレンスを行っている。リハビリの進行状況、退院調整 (転院・介護保険の申請・ケアマネジャーや訪問看護師の介入等) や患者教育 (心不全・虚血性心疾患・開心術後) の必要性の有無や進捗状況の確認等を多職種で行っている。

⑤心不全治療

心不全治療には、急性期の対応 (特に CS3)、ガイドラインに基づく標準的治療 (GDMT) の遵守、基礎疾患に対する介入、自己管理が重要である。

心不全急性期や重症心不全患者に対しては、循環器内科・心臓血管外科・不整脈科の医師と HCU 看護師で毎日 HCU 回診を行い、病状の確認・治療方針の決定を行っている。重症心不全患者の診療に必要な補助循環装置として 2022 年度から Impella を導入し、PCPS (経皮的な心肺補助装置) と併せて使用し救命につなげている。

GDMT の遵守の有無や (入院中・長期的) 治療方針を確認するために週 1 回心不全カンファレンスを

行っている。外科的介入が必要と思われる患者に対しては、週1回の内科・外科合同カンファレンスを行い、検討を行っている。

自己管理（セルフケア）には、セルフケアメンテナンス（水分・塩分制限と内服遵守）とセルフケアマネジメント（心不全増悪に対応する自己管理）重要である。この2つの自己管理を実行可能とするため「自己管理用紙」で症状、体重、血圧、脈拍などを点数化し（心不全ポイント）、合計点数により心不全悪化早期の受診、緊急受診を促進し、再入院予防に貢献している。この当科で開発した「自己管理用紙」を使用した再入院防止の取り組みを地域に拡大すべく、大阪市立総合医療センターをはじめとする病院、診療所、訪問看護ステーション、介護施設の多職種と「大阪心不全地域医療連携の会」（OSHEF）を立ち上げ、患者教育ツール「ハートノート」を上梓し、広域での心不全患者の地域連携医療を構築すべく活動している。現在全国19都道府県137施設でこれらのツールが使用されている。またこれらのツールのICT化にも現在取り組んでいる。

2024年6月より慢性心不全認定看護師・心不全療養指導士を中心メンバーとした心不全看護師外来を開始。退院後の病状や生活・自己管理の状況を把握し、必要に応じて指導を行っている。また心不全地域連携を担う多職種と患者の情報共有も行っている。

b) 不整脈科

①カテーテル・アブレーション

北野病院におけるカテーテル・アブレーションは、個々の病態に応じて、高周波、クライオといった従来のサーマル（thermal）アブレーションに加え、2024年2月より、心房細動に対しては、パルス・フィールドアブレーションを導入した。このアブレーション・エネルギー源は、心筋選択性が高く、周辺組織障害がないため、安全性が高い、加えて、短時間通電により、施行時間は、1時間過ぎまでに、大幅に削減出来ている。

一方、心房細動アブレーション後、心臓外科手術後の複雑な回路を要する心房頻拍・粗動は、従来のカルトシステムでは、回路特定が困難であったが、リズムアマッピングシステムにより、回路特定が可能となり、ケミカルアブレーションも活用し、治療成績が改善している。

更に、心室性不整脈に対しては、昨年導入したエンサイト・システムのHDグリッドマッピングは、心室内の繊細な操作を容易にして、血行動態的に破綻し得る心室頻拍中のマッピングに実力を発揮して、心室性不整脈に対するアブレーション件数の大幅増加に寄与した。

特に、心房細動例について、洞調律化に伴って心不全、心機能や運動耐容能が改善する症例を多数経験することで、心不全、心機能低下患者にも、積極的なアブレーション治療に取り組んでいます。また、治療経験をもとに、積極的に臨床研究に取り組んでいる。

②心臓デバイス、心臓再同期療法、植込み型除細動器（ICD）

通常のペースメーカー植え込みに加えて、昨今は、症例の高齢化により、リードレス・ペースメーカー導入が著しく増加している。心房・心室同期性保持のため、今後、二心腔のリードレス・ペースメーカーの導入を予定している。また、デリバリーシースを用いたスクルーインリードにより、選択的な右室中隔刺激伝導路付近や高位心房中隔等の選択的ペーシングも行っている。各種治療抵抗性心不全例や左心室壁運動の同期不全を有する心不全患者に対し、両心室ペーシングにて補正する心臓同期療法手術（CRT）を積極的に導入している。また、心臓突然死の防止のためのICD及びS-ICDの植込みも実施している。症例の背景により、ハイブリッドオペ室にて完全皮下型ICD植え込み、リードレスペースメーカー植え込みを行った。

また、原因不明の脳梗塞、原因不明失神症例には、植込み型ループレコーダー（ILR）を留置している。

さらに、心臓デバイスに関しては、積極的に遠隔モニターリングを導入して、遠隔モニターリングデータ集約システムを採用し、より効率的な患者管理を行っている。

③心臓デバイスリード抜去

心臓デバイス植え込み患者の高齢化や複雑なペーシング治療の選択等により、今後、感染リードや不要・無機能リードの抜去の必要性は増加すると危惧されているが、リード抜去施設は限られている。当院では、レーザーシース、パワードシースを用いて、ハイブリッドオペ室にて、心臓デバイスの無機能リードの抜去を2例に行った。京大関連病院の中で、関西圏唯一のリード抜去

可能施設であり、関連病院からの紹介により、感染リード抜去を1例に行った。

④出血事象が危惧される心房細動患者への経皮的左心耳閉鎖術

出血事象が危惧される心房細動患者に、DOACの代替療法として期待される経皮的左心耳閉鎖術を開始予定である（2025/7/24施行）

c) 心臓血管外科

心臓血管外科では虚血性心疾患、心臓弁膜症、大動脈瘤、末梢動脈疾患など幅広い心血管疾患に対する手術を施行しています。循環器疾患に患っている患者様に対して最良・最適な検査・治療を選択すべく、内科・外科の垣根なく日々検討を行ない、手術後の患者さまであつてもその治療内容が内科的なものが主体であれば、内科医が担当医に加わり治療に当たることもしばしばです。外科医は内科的センスを身につけ、内科医は外科治療の適応・内容について造詣を深めることが、治療の幅を拡げ内科／外科の医療技術を双方向性に琢磨することが出来、その結果として患者さまへ還元できると確信しております。

現在施行可能な手術対象疾患と手術内容は、下のとおりです。

1. 狭心症、心筋梗塞

多枝病変、左主幹部病変などの内科的治療が困難な症例に対し、冠動脈バイパス術を行います。人工心肺を用いたバイパス手術だけでなく、人工心肺を用いない、より侵襲の少ない心拍動下冠動脈バイパス術も行っています。人工心肺の使用の有無は、患者さまの状態に応じて決定しています。

2. 弁膜症

心臓内で血液の流れを制御している4つの弁（大動脈弁や僧帽弁など）の狭窄や閉鎖不全に対して内科での心不全治療が困難な例に対し、人工弁に置き換える弁置換術や自分の弁を修復する弁形成術を行っています。僧帽弁に対しては形成術を第一選択としています。人工弁には機械弁と生体弁とがあり、両者の利点と欠点を把握したうえで患者さまの年齢等を考慮し、使い分けています。2024年度より胸骨正中切開でなく右前胸部小切開による僧帽弁に対する手術を開始しております。また、弁膜症に合併した心房細動という不整脈に対するメイズ手術も積極的に併用しています。

3. 胸部大動脈瘤、腹部大動脈瘤

高血圧、動脈硬化が原因で動脈が瘤状に拡張してしまう病気です。通常は無症状であることが多く日常生活に支障をきたしませんが、径が5cmを超えると破裂し大出血を起こし致命的となる危険性をはらんでいます。手術はこの破裂を未然に防ぐ予防手術であり、人工血管による置き換え（置換術）を行います。高齢者に対しては身体への侵襲の少ない血管内治療（ステントグラフト留置術）も行っています。

4. 急性大動脈解離（解離性大動脈瘤）

主に高血圧が原因で大動脈の内膜が裂けてしまう病気で、激しい胸痛ないしは背部痛で発症します。裂けた部位によっては放っておくと二週間以内に半数以上の人が死亡すると言われています。裂けた大動脈の部位に応じて、血圧を下げることを主体とした降圧治療や緊急手術（人工血管置換術）を行います。

5. 下肢閉塞性動脈硬化症

動脈硬化によって血管が細くなり血流が落ちてしまう病気で、下肢の冷感、歩行時のしびれや疼痛が主な症状です。狭窄を来した部分や患者さまの症状に応じてカテーテルを用いて動脈を拡張したり（循環器内科）人工血管を用いたバイパス術（心臓血管外科）を行っています。

(4) センターの診療実績

診療体制

a) 外来診療

下記、外来担当表の体制で、年間 21,367 人＋心臓外科 1,744 人（初診 2,446 人＋心臓外科 156

人、紹介 772 人＋心臓外科 29 人）の外来診療を行った。
 ＜外来担当表＞2024 年 4 月～2025 年 3 月

	月	火	水	木	金
1 診	猪子	春名(不整脈)	山地	中根	猪子
2 診	齊藤・山本⇒ 伊堂寺	福田	濱口	中川	北野
3 診	春名(不整脈)	金光(心外) 森島(心外)		金光(心外) 荻野(心外)	ペースメーカ外来(PM) 張田(不整脈) 木村(不整脈)(PM)

b) 2024 年診療実績

2024 年の診療実績は下記の通りである。

心臓センター病床数：38（CCU 6 床）

CCU 入院患者数	461
急性心筋梗塞患者数	73
入院心不全患者数	335
循環器内科 年間入院患者数	1137
循環器内科 平均入院日数	11.2
心臓血管外科 年間入院患者数	119
心臓血管外科 平均入院日数	18
トレッドミルまたはエルゴメーター負荷試験	787
ホルター心電図	1121
経胸壁心エコー(生理検査室実施分)	8692
経食道心エコー(生理検査室実施分)	199
FFR	109
心臓電気生理学検査	15
先天性心疾患の診断カテーテル	0
安静時心筋血流シチ	99
運動負荷心筋血流シチ	23
薬物負荷心筋血流シチ	212
肺血流シチ	24
冠動脈 CT	786
心臓 MRI	80
緊急 PCI	63
待期的 PCI	263
PTA	74
下大静脈フィルター挿入	1
ペースメーカ植込み	70
リード・レス	11
ICD 植込み	10
CRT 植込み	9
心臓デバイスリード抜去（無機能）	2
カテーテルアブレーション	159
ILR（植え込み型ループレコーダー）植え込み	5
遠隔モニターリング導入数	50
心臓手術	64
CABG	10
弁膜症手術	34

大動脈疾患、末梢動脈手術	48
大動脈ステントグラフト	23
TAVI（2024 年 10 月から）	8
IABP	8
ECMO	5
IMPELLA	6
外来心大血管疾患リハビリテーション件数	520
心大血管疾患リハビリテーション実施件数	5578

c) 検査スケジュール

主な手術、検査の週間スケジュールは下記の通りである。

心臓血管外科手術：月、水、金
 心臓カテーテル検査・治療：毎日（緊急は常時）
 不整脈アブレーション：火、水、木、金曜
 心エコー・ホルター心電図・トレッドミル検査：毎日（午後）
 経食道心エコー：毎日
 負荷心臓 RI 検査：月・木曜（午前）
 冠動脈 CT 検査：毎日
 心臓 MRI：火・木曜（午後）
 心肺負荷試験：水曜
 心臓リハビリテーション：毎日

d) 教育

年間を通して初期研修医が常時 2～3 名ずつ心臓センター（循環器内科・不整脈科）で研修を行っている。また、0～1 名の初期研修医が心臓血管外科で研修を行っている。後期研修医は今年度は新規採用が 1 名から 2 名（1 年目 1 名、3 年目 1 名）が在籍しており、指導医の指導の下、救急外来やペースメーカ外来を含む外来診療に加えて、入院診療において心臓カテーテル検査・手術、デバイス手術、経食道エコー検査にも携わっている。

(5) 学会・講演・著作その他の研究活動

【学会】

《循環器内科》

- 1 柴昌行、恒光健史、松本優、鈴木崇生 循環血液量減少性ショックに対する輸血によってアナフィラキシーショックを合併した骨盤骨折の一例 第 52 回日本集中治療医学会学術集会 2025/3/14 福岡
- 2 柴昌行、加藤貴雄、夜久英憲、山本絵里香、猪子森明、木村剛、尾野亘 Association between serum cholinesterase and pneumonia in acute heart failure hospitalization 第 89 回日本循環器学会学術集会 2025/3/29 横浜
- 3 齊藤亘 Staging classification of cardiac damage in bicuspid and tricuspid aortic stenosis; insights from CURRENT AS registry-2 第 89 回日本循環器学会学術集会 2025/3/29 横浜
- 4 中根英策 地域連携による高齢心不全患者の再入院防止に向けての取り組み 第 121 回日本内科学会総会 2024/4/13 東京
- 5 濱口桃香 右房内血栓が卵円孔開存を介して左房内へ侵入していた肺塞栓症の一例 2024/6/1 横浜
- 6 濱口桃香 当院の末梢血管形成術における DCB3 種の成績の傾向スコアマッチング解析による比較検討 2024/7/26 北海道

《不整脈科》

- 1 木村光輝、張田健志、春名徹也 外科的中隔切開線を isthmus として双方向に旋回する Bi-atrial

tachycardia に対して伝導特性の変化が根治に有用であった一例 第 48 回阪神アブレーション電気生理研究会 2024/7/6

- 2 木村光輝、張田健志、春名徹也 Marshall 静脈への distal occlusion technique により僧帽弁輪峡部の伝導を spare しつつ、左房前壁ブロックラインを作成することで根治しえた心房頻拍の一例 カテーテルアブレーション関連秋季大会 2024/10/11
- 3 木村光輝、張田健志、春名徹也 三尖弁輪 6 時方向に最早期心房逆伝導興奮を有する、Atypical Fast-Slow AVNRT に Bystander Node-Ventricular/Fascicular Pathway が合併した一例 第 4 回日本不整脈心電学会 近畿支部地方会 2024/11/16
- 4 木村光輝、張田健志、春名徹也 右室リード位置による CRT-P の有効性の検討 第 23 回京都心血管疾患フォーラム 2025/1/10
- 5 春名徹也 もし「不整脈」と言われたら、どうしたらよい 北野病院市民講座 2025/1/16
- 6 木村光輝、張田健志、春名徹也 Para-Hisian pacing による CRT-P の有効性の検討 第 17 回植込みデバイス関連冬季大会 2025/2/21
- 7 木村光輝、張田健志、春名徹也 CRT における右室リード位置の再考 三共アブレーションセミナー 2025/3/6

《心臓血管外科》

- 1 荻野均 Turner 症候群に合併した二尖大動脈弁＋大動脈縮窄症に対する自己弁温存基部置換および弓部全置換術 第 29 回大動脈シンポジウム 2024/6/22(神戸市)
- 2 荻野均 Surgical management for CTEPH: Japanese experience 中国南方血管外科学会 2024/7/20(中国広州市)
- 3 荻野均 好球必打の 4 番バッター、そして堅守、チーム勝利のキーマン 第 9 回日本肺高血圧肺循環学会 2024/8/10(久留米市)
- 4 荻野均 New developments in Frozenix Bologna Heart Surgery Symposium in 2024 2024/10/28(Bologna)
- 5 荻野均 Real world data of ATAAD repair (IRAD, STS & Japanese database) - Improving outcomes? STS-ASCVYS Aortic Symposium 2024 202/11/14(東京)
- 6 荻野均 急性大動脈解離大規模研究の現状 第 10 回大動脈解離シンポジウム 2024/11/23(東京)
- 7 荻野均 外科ビデオセッション I: 大動脈基部再手術における冠動脈再建術 第 37 回日本冠疾患学会学術集会 2024/11/29(東京)

【講演】

- 1 中根英策 医療との連携について 心不全について 2024/4/20 大阪
- 2 中根英策 第 5 回心不全の地域包括ケアを考える会 高齢心不全患者に対する再入院防止の取り組み～心不全ポイントと地域連携で再入院を防ぐ～ 2024/5/13 千葉 (Web)
- 3 中根英策 循環器疾患未来投資フォーラム沖縄分科会 大阪における心不全地域連携の取り組み 2024/5/23 沖縄 (現地)
- 4 中根英策 中越地区心不全診療を考える会 再入院防止を目的とした心不全地域連携～SGLT2 阻害剤の話題も含めて～ 2024/6/4 新潟 (Web)
- 5 中根英策 岐阜県 慢性心不全地域連携 再入院防止を目的とした心不全地域連携～SGLT2 阻害剤の話題も含めて～ 2024/6/5 岐阜 (現地)
- 6 中根英策 庄内エリア 地域で考える心不全診療 大阪における心不全地域連携の取り組み 2024/6/17 山形 (Web)
- 7 中根英策 北心会 心不全はどんな病気？ 予防法と治療法について学びましょう 2024/6/25 大阪
- 8 中根英策 第 13 回心不全治療を考える会 in 宮崎 2024/7/29 宮崎 (Web)
- 9 中根英策 結城病院心不全勉強会 高齢心不全患者に対する再入院防止の取り組み～心不全ポイントと地域連携で再入院を防ぐ～ 2024/8/1 茨城 (Web)
- 10 中根英策 第 1 回 M-HEARTS 高齢心不全患者に対する再入院防止の取り組み～心不全ポイントと地域連携で再入院を防ぐ～ 2024/8/3 宮崎 (現地)
- 11 中根英策 心不全連携 Update Seminar 大阪における心不全地域連携の取り組み 2024/9/19

愛知(現地)

- 1 2 中根英策 Cardiology×Diabetes クロスカンファレンス 再入院防止を目的とした心不全地域連携～リベルサスの話題を含めて～ 2024/11/25 大阪
- 1 3 福田弘毅 「第12回呼吸器専門医のための とことんセミナー」 2024/12/6 AP 大阪茶屋町

【論文】

《循環器内科》

(原著論文・査読あり)

- 1 Kuno T, Koitabashi N, Yamashita Y, Morimoto T, Ohyama Y, Takama N, Obokata M, Chatani, R, Kaneda K, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa R, Ishii H, Kimura T; COMMAND VTE Registry-2 Investigators. Management strategies and clinical outcomes of venous thromboembolism in patients with antiphospholipid syndrome in the direct oral anticoagulant era: Insight from the COMMAND VTE Registry-2. *Thromb Res.* 2025 Mar 21;249:109311. doi:10.1016/j.thromres.2025.109311. Epub ahead of print. PMID: 40138871.
- 2 Amano M, Kitaoka H, Yoshikawa Y, Sakata Y, Dohi K, Tokita Y, Kato T, Matsushima S, Kitai T, Okada A, Furukawa Y, Tamura T, Hayashida A, Abe H, Ando K, Yuda S, Inoko M, Kadota K, Abe Y, Iwakura K, Kitamura T, Masuda J, Ohara T, Omura T, Tanigawa T, Nakamura K, Nishimura K, Izumi C; REVEAL-HCM Investigators. Validation of Guideline Recommendation on Sudden Cardiac Death Prevention in Hypertrophic Cardiomyopathy. *JACC Heart Fail.* 2025 Mar 1:S2213-1779(25)00083-6. doi: 10.1016/j.jchf.2024.12.006. Epub ahead of print. PMID: 40088231.
- 3 Tsurumoto K*, Kamisaka K, Nakane E, Inoko M, Uemura K. Association of Frailty Assessed by the Kihon Checklist Upon the Readmission of Older Patients With Heart Failure. *Circ J.* 2025 Mar 25;89(4):457-462. doi: 10.1253/circj.CJ-24-0908. Epub 2025 Feb 21. PMID: 39993740.
- 4 Hanazawa K, Shiomi H, Morimoto T, Ando K, Furukawa Y, Tada T, Tazaki J, Kadota K, Tamura T, Sato Y, Matsuda M, Inoko M, Shirotani M, Onodera T, Shinoda E, Yamamoto T, Tamura T, Miki S, Aoyama T, Suwa S, Minatoya K, Soga Y, Koyama T, Komiya T, Ohno N, Ogawa T, Yamazaki F, Nishizawa J, Esaki J, Kanemitsu N, Nakagawa Y, Kimura T; CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort -2 and -3 Investigators. Suspected Fatal Arrhythmic Events in Japanese Patients With Coronary Artery Disease - From the CREDO-Kyoto PCI/CABG Registries Cohorts-2 and -3. *Circ J.* 2025 Feb 25;89(3):364-372. doi: 10.1253/circj.CJ-24-0488. Epub 2025 Jan 25. PMID: 39864826.
- 5 Nakane E, Kato T, Tanaka N, Idouji M, Yamamoto Y, Saitou W, Hamaguchi T, Yano M, Harita T, Yamaji Y, Fukuda H, Haruna T, Inoko M. Cost-Effectiveness of the Self-Care Management System for Heart Failure. *Circ Rep.* 2024 Dec 7;7(1):31-36. doi: 10.1253/circrep.CR-24-0088. PMID: 39802132; PMCID: PMC11711784.
- 6 Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa R, Kaneda K, Ono K, Kimura T; COMMAND VTE Registry-2 Investigators. Newly Diagnosed Cancer After Diagnosis of Venous Thromboembolism - Insights From the COMMAND VTE Registry-2. *Circ J.* 2024 Dec 21. doi:

- 10.1253/circj.CJ-24-0786. Epub ahead of print. PMID: 39710396.
- 7 Taniguchi T, Morimoto T, Takeji Y, Shirai S, Ando K, Tabata H, Yamamoto K, Murai R, Osakada K, Sakamoto H, Tada T, Murata K, Obayashi Y, Amano M, Kitai T, Izumi C, Toyofuku M, Kanamori N, Miyake M, Nakayama H, Izuhara M, Nagao K, Nakatsuma K, Furukawa Y, Inoko M, Kimura M, Ishii M, Usami S, Nakazeki F, Shirotani M, Inuzuka Y, Ono K, Minatoya K, Kimura T; CURRENT AS Registry-2 Investigators. Low-Gradient Severe Aortic Stenosis: Insights From the CURRENT AS Registry-2. *JACC Cardiovasc Interv.* 2025 Feb 24;18(4):471-487. doi: 10.1016/j.jcin.2024.09.044. Epub 2024 Dec 18. PMID: 39708011.
- 8 Yamamoto K, Takeji Y, Taniguchi T, Morimoto T, Shirai S, Kitai T, Tabata H, Ohno N, Murai R, Osakada K, Murata K, Nakai M, Tsuneyoshi H, Tada T, Amano M, Watanabe S, Shiomi H, Watanabe H, Yoshikawa Y, Nishikawa R, Obayashi Y, Toyofuku M, Tatsushima S, Kanamori N, Miyake M, Nakayama H, Nagao K, Izuhara M, Nakatsuma K, Inoko M, Fujita T, Kimura M, Ishii M, Usami S, Nakazeki F, Togi K, Inuzuka Y, Ando K, Komiya T, Ono K, Minatoya K, Kimura T; CURRENT AS Registry-2 Investigators. Safety of Calcium Channel Blockers in Patients With Severe Aortic Stenosis and Hypertension. *Circ J.* 2024 Dec 18. doi: 10.1253/circj.CJ-24-0771. Epub ahead of print. PMID: 39694497.
- 9 Sato T, Ogihara Y, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Kaneda K, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa R, Kimura T, Dohi K; Contemporary Management and Outcomes in Patients With Venous Thromboembolism Registry-2 Investigators. Incidence and risk factors of ischemic stroke in patients with cancer-associated venous thromboembolism: from the Contemporary Management and Outcomes in Patients With Venous Thromboembolism Registry-2. *Res Pract Thromb Haemost.* 2024 Oct 30;8(8):102617. doi: 10.1016/j.rpth.2024.102617. PMID: 39634322; PMCID: PMC11616038.
- 1 O Takeji Y, Taniguchi T, Morimoto T, Shirai S, Kitai T, Tabata H, Ohno N, Murai R, Osakada K, Murata K, Nakai M, Tsuneyoshi H, Tada T, Amano M, Watanabe S, Shiomi H, Watanabe H, Yoshikawa Y, Nishikawa R, Obayashi Y, Yamamoto K, Toyofuku M, Tatsushima S, Kanamori N, Miyake M, Nakayama H, Nagao K, Izuhara M, Nakatsuma K, Inoko M, Fujita T, Kimura M, Ishii M, Usami S, Nakazeki F, Togi K, Inuzuka Y, Ando K, Komiya T, Ono K, Minatoya K, Kimura T; CURRENT AS registry-2 Investigators. Availability of transcatheter aortic valve implantation across hospitals and differences in strategies and clinical outcomes in patients with severe aortic stenosis. *Cardiovasc Interv Ther.* 2025 Jan;40(1):152-163. doi:10.1007/s12928-024-01054-w. Epub 2024 Nov 28. PMID: 39604671.
- 1 1 Takabayashi K, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Kaneda K, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa R, Ono K, Kimura T; COMMAND VTE Registry-2 Investigators. Clinical characteristics and short-term outcomes of patients with critical acute pulmonary embolism requiring extracorporeal membrane oxygenation: from the COMMAND VTE Registry-2. *J Intensive Care.* 2024 Nov 5;12(1):45. doi: 10.1186/s40560-024-00755-x. PMID: 39497225; PMCID: PMC11536536.
- 1 2 Shigeno R, Kim K, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Kaneda K, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa

- R, Furukawa Y, Kimura T; COMMAND VTE Registry-2 Investigators. Initial anticoagulation therapy with single direct oral anticoagulant in patients with intermediate-high risk acute pulmonary embolism: From the COMMAND VTE Registry-2. *Int J Cardiol.* 2025 Jan 15;419:132680. doi: 10.1016/j.ijcard.2024.132680. Epub 2024 Oct 24. PMID: 39461566.
- 1 3 Ikeda S, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Kaneda K, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogiwara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa R, Ono K, Kimura T. Association Between White Blood Cell Counts at Diagnosis and Clinical Outcomes in Venous Thromboembolism - From the COMMAND VTE Registry-2. *Circ J.* 2024 Oct 22. doi: 10.1253/circj.CJ-24-0581. Epub ahead of print. PMID: 39443129.
- 1 4 Ikeda N, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Kaneda K, Nishimoto Y, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogiwara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Kimura T; COMMAND VTE Registry - 2 Investigators. Incidence of Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension After Pulmonary Embolism in the Era of Direct Oral Anticoagulants: From the COMMAND VTE Registry-2. *J Am Heart Assoc.* 2024 Nov 5;13(21):e035997. doi: 10.1161/JAHA.124.035997. Epub 2024 Oct 22. PMID: 39435728; PMCID: PMC11935678.
- 1 5 Nagao K, Kato T, Yaku H, Morimoto T, Aida K, Maruichi SK, Inuzuka Y, Tamaki Y, Yamamoto E, Yoshikawa Y, Kitai T, Taniguchi R, Iguchi M, Kato M, Takahashi M, Jinnai T, Kawai T, Komasa A, Nishikawa R, Kawase Y, Morinaga T, Su K, Kawato M, Seko Y, Inada T, Inoko M, Toyofuku M, Furukawa Y, Nakagawa Y, Ando K, Kadota K, Shizuta S, Sato Y, Kuwahara K, Ozasa N, Ono K, Kimura T. Differential Prognostic Impact of Clinical Congestion between Preserved versus Reduced Ejection Fraction in Patients Hospitalized for Acute Decompensated Heart Failure: Findings from the Japanese Kyoto Congestive Heart Failure Registry. *J Card Fail.* 2024 Sep 30;S1071-9164(24)00413-5. doi: 10.1016/j.cardfail.2024.08.060. Epub ahead of print. PMID: 39357667.
- 1 6 Nishikawa R, Yamashita Y, Morimoto T, Kaneda K, Chatani R, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogiwara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Ono K, Kimura T; COMMAND VTE Registry - 2 Investigators. Selection of Home Treatment and Identification of Low-Risk Patients With Pulmonary Embolism Based on Simplified Pulmonary Embolism Severity Index Score in the Era of Direct Oral Anticoagulants. *J Am Heart Assoc.* 2024 Oct;13(19):e034953. doi: 10.1161/JAHA.124.034953. Epub 2024 Sep 30. PMID: 39344589; PMCID: PMC11681475.
- 1 7 Kaneda K, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogiwara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa R, Ono K, Kimura T. Temporal Changes in Long-Term Outcomes of Venous Thromboembolism From the Warfarin Era to the Direct Oral Anticoagulant Era. *J Am Heart Assoc.* 2024 Aug 6;13(15):e034412. doi: 10.1161/JAHA.124.034412. Epub 2024 Jul 31. PMID: 39082425; PMCID: PMC11964054.
- 1 8 Nishimoto Y, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Kaneda K, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda

- S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa R, Sato Y, Watanabe T, Yamada T, Fukunami M, Kimura T; COMMAND VTE Registry-2 Investigators. External validation of the Pulmonary Embolism-Syncope, Anemia, and Renal Dysfunction bleeding score for early major bleeding in patients with acute pulmonary embolism: from the COMMAND VTE Registry-2. *J Thromb Haemost.* 2024 Oct;22(10):2784-2796. doi: 10.1016/j.jtha.2024.06.011. Epub 2024 Jun 27. PMID: 38944241.
- 1 9 Kanenawa K, Yamaji K, Morimoto T, Yamamoto K, Domei T, Hyodo M, Shiomi H, Furukawa Y, Nakagawa Y, Kadota K, Watanabe H, Yoshikawa Y, Tada T, Tazaki J, Ehara N, Taniguchi R, Tamura T, Iwakura A, Tada T, Suwa S, Toyofuku M, Inada T, Kaneda K, Ogawa T, Takeda T, Sakai H, Yamamoto T, Tambara K, Esaki J, Eizawa H, Yamada M, Shinoda E, Nishizawa J, Mabuchi H, Tamura N, Shirotani M, Nakayama S, Uegaito T, Matsuda M, Takahashi M, Inoko M, Kanemitsu N, Tamura T, Ishii K, Nawada R, Onodera T, Ohno N, Koyama T, Tsuneyoshi H, Sakamoto H, Aoyama T, Miki S, Tanaka M, Sato Y, Yamazaki F, Hanyu M, Soga Y, Komiya T, Minatoya K, Ando K, Kimura T. Prognostic significance of baseline low-density lipoprotein cholesterol in patients undergoing coronary revascularization; a report from the CREDO-Kyoto registry. *J Cardiol.* 2024 Oct;84(4):300-310. doi: 10.1016/j.jjcc.2024.05.011. Epub 2024 Jun 11. PMID: 38871119.
 - 2 0 Mabuchi H, Nishikawa R, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Kaneda K, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Ono K, Nakagawa Y, Kimura T. Statins use and recurrent venous thromboembolism in the direct oral anticoagulant era: insight from the COMMAND VTE Registry-2. *J Thromb Thrombolysis.* 2024 Aug;57(6):907-917. doi: 10.1007/s11239-024-03002-0. Epub 2024 May 18. PMID: 38762713.
 - 2 1 Yamamoto K, Natsuaki M, Watanabe H, Morimoto T, Obayashi Y, Nishikawa R, Ando K, Suwa S, Isawa T, Takenaka H, Ishikawa T, Tamura T, Kawahatsu K, Hayashi F, Akao M, Serikawa T, Mori H, Kawamura T, Hagikura A, Shibata N, Ono K, Kimura T; STOPDAPT-3 Investigators. An Aspirin-Free Strategy for Immediate Treatment Following Complex Percutaneous Coronary Intervention. *JACC Cardiovasc Interv.* 2024 May 13;17(9):1119-1130. doi: 10.1016/j.jcin.2024.03.017. PMID: 38749592.
 - 2 2 Ito S, Nakajima Y, Fukuda H, Izumi C, Nakazawa G, Yamashita H, Matsuhisa H, Inoko M, Toyoda S, Takiuchi S, Kataoka T, Izumiya Y, Abe Y, Sozu T, Sakata Y, Emoto M, Inoue T, Kitakaze M. Rationale and Design of Prospective, Multicenter, Double-Arm Clinical Trial to Investigate the Efficacy of Tofogliflozin on Left Ventricular Diastolic Dysfunction in Patients with Heart Failure with Preserved Ejection Fraction and Type 2 Diabetes Mellitus (TOP-HFPEF Trial). *Cardiovasc Drugs Ther.* 2025 Feb;39(1):145-154. doi: 10.1007/s10557-024-07576-y. Epub 2024 May 10. PMID: 38727896.
 - 2 3 Obayashi Y, Takeji Y, Taniguchi T, Morimoto T, Shirai S, Kitai T, Tabata H, Ohno N, Murai R, Osakada K, Murata K, Nakai M, Tsuneyoshi H, Tada T, Amano M, Watanabe S, Shiomi H, Watanabe H, Yoshikawa Y, Nishikawa R, Yamamoto K, Toyofuku M, Tatsushima S, Kanamori N, Miyake M, Nakayama H, Nagao K, Izuhara M, Nakatsuma K, Inoko M, Fujita T, Kimura M, Ishii M, Usami S, Nakazeki F, Togi K, Inuzuka Y, Ando K, Komiya T, Ono K, Minatoya K, Kimura T; CURRENT AS Registry-2 Investigators. Concomitant Mitral Regurgitation in Severe Aortic Stenosis - Insights From the CURRENT AS Registry-2. *Circ J.* 2024 Nov 25;88(12):1996-2007.

doi: 10.1253/circj.CJ-24-0103. Epub 2024 May 9. PMID: 38719572.

- 2 4 Sueta D, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Nishimoto Y, Kaneda K, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa R, Kimura T, Tsujita K; COMMAND VTE Registry-2 Investigators. Edoxaban, Rivaroxaban, or Apixaban for Cancer-Associated Venous Thromboembolism in the Real World: Insights from the COMMAND VTE Registry-2. *Thromb Haemost.* 2024 Nov;124(11):1013-1023. doi: 10.1055/a-2316-5269. Epub 2024 Apr 29. PMID: 38684190.
- 2 5 Nishimoto Y, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Kaneda K, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Sato Y, Watanabe T, Yamada T, Fukunami M, Kimura T; COMMAND VTE Registry-2 Investigators. Direct oral anticoagulant-associated bleeding complications in patients with gastrointestinal cancer and venous thromboembolism. *Eur J Intern Med.* 2024 Sep;127:74-83. doi: 10.1016/j.ejim.2024.04.012. Epub 2024 Apr 25. PMID: 38664165.
- 2 6 Ikeda S, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Kaneda K, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa R, Ono K, Kimura T. Subclass phenotypes in patients with unprovoked venous thromboembolisms using a latent class analysis. *Thromb Res.* 2024 Jun;238:27-36. doi: 10.1016/j.thromres.2024.04.017. Epub 2024 Apr 19. PMID: 38653180.
- 2 7 Ogihara Y, Yamashita Y, Morimoto T, Chatani R, Kaneda K, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Sato T, Nishikawa R, Kimura T, Dohi K; COMMAND VTE Registry-2 Investigators. Fragility and long-term clinical outcomes in patients with venous thromboembolism receiving direct oral anticoagulants: From the COMMAND VTE REGISTRY-2. *Thromb Res.* 2024 Apr;236:191-200. doi: 10.1016/j.thromres.2024.02.023. Epub 2024 Feb 29. PMID: 38461613.
- 2 8 Obayashi Y, Natsuaki M, Watanabe H, Morimoto T, Yamamoto K, Nishikawa R, Ando K, Suwa S, Isawa T, Takenaka H, Ishikawa T, Tokuyama H, Sakamoto H, Fujita T, Nanasato M, Okayama H, Nishikura T, Kirigaya H, Nishida K, Ono K, Kimura T; STOPDAPT-3 investigators. Aspirin-free strategy for percutaneous coronary intervention in acute coronary syndrome based on the subtypes of acute coronary syndrome and high bleeding risk: the STOPDAPT-3 trial. *Eur Heart J Cardiovasc Pharmacother.* 2024 Aug 14;10(5):374-390. doi: 10.1093/ehjcvp/pvae009. Erratum in: *Eur Heart J Cardiovasc Pharmacother.* 2024 Aug 14;10(5):478. doi: 10.1093/ehjcvp/pvae046. PMID: 38285607.
- 2 9 Chatani R, Yamashita Y, Morimoto T, Kaneda K, Mushiake K, Kadota K, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Kimura T; COMMAND VTE Registry-2 Investigators. Transition of management strategies and long-term outcomes in cancer-associated venous thromboembolism from the warfarin era to the direct oral anticoagulant era. *Eur J Intern Med.* 2024 May;123:72-80. doi: 10.1016/j.ejim.2024.01.012. Epub 2024 Jan 25. PMID: 38278660.

- 3 0 Ito S*, Inoko M, Yamashita Y, Morimoto T, Kimura T; COMMAND VTE Registry-2 Investigators. Thrombocytopenia and bleeding events in patients with venous thromboembolism. *Eur J Intern Med.* 2024 Apr;122:132-134. doi: 10.1016/j.ejim.2024.01.007. Epub 2024 Jan 18. PMID: 38238133.
- 3 1 Nishikawa R, Shiomi H, Morimoto T, Yamamoto K, Sakamoto H, Tada T, Kaneda K, Nagao K, Nakatsuma K, Tazaki J, Suwa S, Inoko M, Yamazaki K, Tsuneyoshi H, Komiya T, Ando K, Minatoya K, Furukawa Y, Nakagawa Y, Kimura T; CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-3 investigators. Effects of peripheral artery disease on long-term outcomes after percutaneous coronary intervention versus coronary artery bypass grafting in patients with severe coronary artery disease. *J Cardiol.* 2024 Oct;84(4):279-286. doi: 10.1016/j.jjcc.2023.12.004. Epub 2023 Dec 21. PMID: 38135147.
- 3 2 Yamamoto K, Morimoto T, Natsuaki M, Shiomi H, Ozasa N, Sakamoto H, Takeji Y, Domei T, Tada T, Taniguchi R, Uegaito T, Yamada M, Takeda T, Eizawa H, Suwa S, Shirotani M, Tamura T, Inoko M, Sakai H, Ishii K, Toyofuku M, Miki S, Onodera T, Furukawa Y, Inada T, Ando K, Kadota K, Nakagawa Y, Kimura T; CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-3 Investigators. Polypharmacy and Bleeding Outcomes After Percutaneous Coronary Intervention. *Circ J.* 2024 May 24;88(6):888-899. doi: 10.1253/circj.CJ-23-0558. Epub 2023 Sep 15. PMID: 37722886.
- 3 3 Shiba M, Kato T, Seko Y, Minamino-Muta E, Tanada Y, Kimura T, Ono K; Cobalt protoporphyrin promotes heme oxygenase 1 expression and ameliorates cardiac dysfunction in long-term fasting mice. *Int J Cardiol.* 2024 Jun 1;404:131972. doi: 10.1016/j.ijcard.2024.131972. Epub 2024 Mar 14. PMID: 38490272.
- 3 4 Tanaka M, Kohjitani H, Yamamoto E, Morimoto T, Kato T, Yaku H, Inuzuka Y, Tamaki Y, Ozasa N, Seko Y, Shiba M, Yoshikawa Y, Yamashita Y, Kitai T, Taniguchi R, Iguchi M, Nagao K, Kawai T, Komasa A, Kawase Y, Morinaga T, Toyofuku M, Furukawa Y, Ando K, Kadota K, Sato Y, Kuwahara K, Okuno Y, Kimura T, Ono K; KCHF Study Investigators; Development of interpretable machine learning models to predict in-hospital prognosis of acute heart failure patients. *ESC Heart Fail.* 2024 Oct;11(5):2798-2812. doi:10.1002/ehf2.14834. Epub 2024 May 15. PMID: 38751135.

《不整脈科》

(原著論文・査読あり)

- 1 Kohki Kimura, …Efficacy of combined radiofrequency ablation with distal ethanol infusion in the vein of Marshall for incomplete anterior mitral line in atrial tachycardia. *HeartRhythm Case Rep.* 2024 Aug 8;10(11):816-820

《心臓血管外科》

(原著論文・査読あり)

- 1 Ogino H, et al Current status of surgical treatment for acute aortic dissection in Japan: Nationwide database analysis. *J Thorac Cardiovasc Surg* 2025 jan;169 (1):11-23. e1 (共著論文・査読あり)
- 2 Iwahashi T, Ogino H, et al Clinical Characteristics and Early Surgical Outcomes of Aortoesophageal Fistula. *Ann Thorac Surg* 2025 Mar; 119 (3):538-545.
- 3 Akutsu K., Ogino H, et al Clinical Features of 544 Patients With Ruptured Aortic Aneurysm - A Report From the Tokyo Acute Aortic Super Network. *Database Circ J* 2024 Sep;88 (10):1664-1671.
- 4 Masaki K, Ogino H, et al Outcomes of Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension After Balloon Pulmonary Angioplasty and Pulmonary Endarterectomy. *JACC Asia* 2024 Jul; 4

- (8):577-589.
- 5 Nakamura J, Ogino H, et al Cancer as an independent mortality risk in chronic thromboembolic pulmonary hypertension. *J Heart Lung Transplant*. 2025 Mar;44(3):339-348
 - 6 Ikeda N, Ogino H, et al Insights into balloon pulmonary angioplasty and the WHO functional class of chronic thromboembolic pulmonary hypertension patients: findings from the CTEPH AC registry Cardiovasc Interv Ther. 2025 Jan 22

【研究】

《不整脈科》

- 1 心臓デバイス植え込み患者に対する遠隔モニタリングのデータ統合管理の有用性
(春名徹也、張田健志、木村光輝、臨床工学部)
- 2 遠隔モニタリングのデータ統合管理システムを用いた、デバイス植え込み患者の発作性心房細動の管理及び治療効果判定における有用性
(春名徹也、張田健志、木村光輝、臨床工学部)
- 3 日本におけるカテーテルアブレーションの現状把握:アブレーション全例登録観察研究 (Japan Ablation Registry: J-AB study)
(春名徹也、張田健志、木村光輝)
- 4 難治性心房頻拍及び心房細動を対象としたマーシャル静脈に対するケミカルアブレーションを用いた探索的介入研究
(春名徹也、張田健志、木村光輝)
- 5 新規我が国における心臓植え込み型デバイス治療の登録調査
New Japan Cardiac Device Treatment Registry (New JCDTR)
(春名徹也、張田健志、木村光輝)
- 6 持続性心房細動例における積極的洞調律化の妥当性を心房細動適応現象から判定する
(春名徹也、張田健志、木村光輝)
- 7 高齢者頻脈徐脈症候群における比較的高位心房中隔ペーシングによる心房細動抑制効果の検討
(春名徹也、張田健志)
- 8 心房細動アブレーションにおける左心房後壁電氣的隔離追加の意義と方法に関する検討
(張田健志、春名徹也)
- 9 心房細動アブレーション直後の心臓電気生理学的特徴と再発時期との関連についての検討
(張田健志、木村光輝、春名徹也)
- 10 非肺静脈起源心房細動症例の心房細動アブレーション術前の予測因子に関する検討
(張田健志、木村光輝、春名徹也)
- 11 心臓デバイスリード抜去症例の日本における実態調査 Japan Lead extraction registry (J-LEX レジストリ)
(木村光輝、春名徹也)
- 12 経皮的左心耳閉鎖システムを用いた非弁膜症性心房細動患者の塞栓予防の 有効性と安全性に関する多施設レジストリー研究 (J-LAAO) 心不全患者の運動療法における予後調査
(春名徹也、木村光輝、柴 昌行、北野真理子、濱口桃香、中根英策)

《循環器内科》

- 1 高齢心不全患者の心臓リハビリテーションの効果と予後因子に対する網羅的検討
(中根英策、福田弘毅、猪子森明)
- 2 大動脈弁狭窄症患者に対する治療法選択とその予後を検討する多施設前向きコホート研究 (CURRENT-AS Study-2)
(猪子森明、加藤貴雄、春名徹也、山地雄平、中根英策、福田弘毅、北野真理子、柴昌行、張田健志、濱口桃香、木村光輝、河合龍馬、山本裕貴、伊堂寺諒、中川靖章、森島学、荻野均、金光ひでお)
- 3 多施設共同研究 CREDO-Kyoto 3 (Coronary REvascularization Demonstrating Outcome Study in Kyoto) 追跡調査: 日本における経皮的冠動脈インターベンション (PCI) および冠動脈バイパス手術 (CABG) のレジストリー・多施設による冠動脈疾患血行再建術後の長期成績・予後調査

コホート 3

- (猪子森明、山地雄平、張田健志、中根英策、福田弘毅、北野真理子、柴昌行、木村光輝、濱口桃香、河合龍馬、山本裕貴、伊堂寺諒、中川靖章、春名徹也)
- 4 慢性心不全患者のフレイル実態調査
(吉田 都、鶴本一寿、上坂健太、中根英策、猪子森明)
 - 5 急性冠症候群に対するエベロリムス溶出性コバルトクロムステント留置後の抗血小板剤 2 剤併用療法 (DAPT) 期間を 1 ヶ月に短縮することの安全性を評価する研究 (STOPDAPT-2 ACS)
(山地雄平、福田弘毅、濱口桃香、北野真理子、柴昌行、山本裕貴、伊堂寺諒、河合龍馬、中川靖章、中根英策、猪子森明)
 - 6 至適な血管内超音波ガイド経皮的冠動脈インターベンションの複雑性病変における臨床経過を評価する前向き観察研究 (OPTIVUS-Complex PCI)
(山地雄平、猪子森明)
 - 7 レセプトおよび DPC データを用いた循環器疾患における医療の質に関する研究
(猪子森明、山地雄平、張田健志、中根英策、福田弘毅、北野真理子、柴昌行、木村光輝、濱口桃香、河合龍馬、山本裕貴、伊堂寺諒、中川靖章、春名徹也)
 - 8 心アミロイドーシス患者の臨床的特徴と予後を検討する多施設前向きコホート研究 (CAPTURE-AMYLOID)
(濱口桃香、中根英策、山地雄平、張田健志、福田弘毅、北野真理子、柴昌行、木村光輝、河合龍馬、山本裕貴、伊堂寺諒、中川靖章、春名徹也、猪子森明)
 - 9 大阪心不全地域連携の会 (Osaka Stops HEart Failure, OSHEF) の心不全地域連携パスの導入例における心不全再入院回避率および回避例・非回避例
(猪子森明、山地雄平、張田健志、中根英策、福田弘毅、北野真理子、柴昌行、木村光輝、濱口桃香、河合龍馬、山本裕貴、伊堂寺諒、中川靖章、春名徹也)
 - 10 肥大型心筋症の診療実態に関する多施設前向き登録研究 (PREVAIL HCM)
(北野真理子、柴昌行、濱口桃香、中根英策、猪子森明)
 - 11 心不全患者の再入院防止を目的とした新たな心不全管理システム前後における医療経済効果
(中根英策、猪子森明)
 - 12 心不全患者の症状緩和におけるモルヒネ投与の有効性と安全性に関する多施設共同前向き観察研究 (Morphine-HF study)
(北野真理子、中根英策、猪子森明)
 - 13 うっ血性心不全 (心性浮腫) 患者における五苓散追加投与の浮腫に対する有効性を検証する研究 (GOREISAN-HF Trial)
(中根英策、猪子森明)
 - 14 2 型糖尿病左室拡張不全患者の左室拡張機能に及ぼすトログリフロジンの効果の検討 (TOP-HFPEF)
(福田弘毅、中根英策、猪子森明)
 - 15 本邦における心血管インターベンションの実態調査 (J-PCI) を用いた日本心血管インターベンション治療学会内登録データを用いた統合的解析
(猪子森明、山地雄平、張田健志、中根英策、福田弘毅、北野真理子、柴昌行、木村光輝、濱口桃香、河合龍馬、山本裕貴、伊堂寺諒、春名徹也)
 - 16 オールジャパンで行う全身性アミロイドーシスコホート研究 (J-COSSA)
(濱口桃香、中根英策、猪子森明)
 - 17 慢性閉塞性肺疾患を有する慢性心不全患者における LAMA/LABA 投与による心不全改善効果の検討に関する探索的臨床試験 (COPD-HF)
(福田弘毅、中根英策、猪子森明)
 - 18 肥大型心筋症患者における診療の実態調査および突然死／拡張相への移行に関する新規予測プログラムの開発とその検証のための多施設後向き登録研究 (REVEAL-HCM)
(北野真理子、柴昌行、濱口桃香、河合龍馬、中根英策、猪子森明)
 - 19 循環器疾患診療実態調査 (JROAD) のデータベースによる心臓サルコイドーシスの診療実態調査と二次調査に基づく診断・治療プロトコルの策定に関する研究 (MYSTICS 研究)
(北野真理子、柴昌行、濱口桃香、中根英策、猪子森明)

- 2 0 リモート行動変容支援と外来診療医への健康データ提供による虚血性心疾患のリスク因子是正効果に関する研究
(上坂健太、鶴本 一寿、中根英策、猪子森明)
- 2 1 血行再建の適応とならない慢性冠症候群患者に対するアスピリンの有効性及び安全性の検討 (ASA IN 研究)
(北野真理子、濱口桃香、中根英策、山地雄平、張田健志、福田弘毅、柴昌行、河合龍馬、山本裕貴、伊堂寺諒、中川靖章、春名徹也、猪子森明)
- 2 2 補助循環用ポンプカテーテルに関するレジストリ事業 (J-PVAD 研究)
(山地雄平、中根英策、猪子森明)
- 2 3 心不全管理ツールを用いた心不全地域連携システム導入による心不全再入院に及ぼす効果の検討
(中根英策、猪子森明)
- 2 4 エベロリムス溶出性プラチナクロムステント留置後の抗血小板療法を P2Y12 阻害薬単剤とすることの安全性と有効性を評価する研究
(山地雄平、中根英策、猪子森明)
- 2 5 川崎病既往成人における急性冠症候群とカテーテル治療例の診療実態に関する全国調査研究 (AKD-ACS/PCI)
(山地雄平、中根英策、猪子森明)
- 2 6 冠動脈 3 枝疾患に対する定量的冠血流比 (QFR) に基づく機能的虚血評価の意義:CREDO-Kyoto Registry Cohort-3 QFR Study
(山地雄平、中根英策、猪子森明)
- 2 7 急性冠症候群や他臓器虚血の原因となる特発性冠動脈解離の診断基準策定・診療実態ならびに予後についての臨床エビデンスを創出する研究 ISCAD-CATCH
(山地雄平、中根英策、猪子森明)
- 2 8 肥大型心筋症患者における重症一次性僧帽弁閉鎖不全症の合併と治療法に関する予後の検討
(北野真理子、柴昌行、濱口桃香、中根英策、猪子森明)
- 2 9 連合弁膜症の疫学および予後に関する多施設前向き観察研究 (EACVI-MMVD study)
(北野真理子、柴昌行、濱口桃香、中根英策、猪子森明)
- 3 0 心臓サルコイドーシスの診療実態に関する多施設前向き登録研究 (MYSTICS-PRO)
(北野真理子、柴昌行、濱口桃香、中根英策、猪子森明)
- 3 1 心血管障害におけるペルオキシレドキシン 6 の意義に関する研究
(中根英策、猪子森明)
- 3 2 成人心不全患者を対象に、ponsegromab またはプラセボを反復皮下投与したときの症状、機能、健康関連 QOL および安全性を検討する第 2 相、二重盲検、無作為化、プラセボ対照、4 群試験
(猪子森明、北野真理子、濱口桃香、福田弘毅、柴昌行、中川靖章、中根英策)
- 3 3 治療抵抗性高血圧患者を含む、2 剤以上の治療薬を使用しているコントロール不良の高血圧患者を対象として baxdrostat の有効性及び安全性を評価する二重盲検、ランダム化、プラセボ対照、多施設共同試験
(猪子森明、北野真理子、濱口桃香、福田弘毅、柴昌行、中川靖章、中根英策)
- 3 4 EASi-HF - 左室駆出率 (LVEF) が 40%以上の症候性心不全 (HF: NYHA II~IV) 患者を対象に、BI 690517 とエンパグリフロジンを併用経口投与したときの有効性及び安全性をプラセボ及びエンパグリフロジンと比較して評価する第 III 相、二重盲検、無作為化、並行群間比較、優越性検証試験
(猪子森明、北野真理子、濱口桃香、福田弘毅、柴昌行、中川靖章、中根英策)
- 3 5 ナトリウム利尿ペプチド分子型制御機構に基づく心不全の新規治療法・診断法の開発
(中川靖章 猪子森明)
- 3 6 種々の心疾患におけるナトリウム利尿ペプチド分子型のバイオマーカーとしての意義の検討
(中川靖章 柴昌行 猪子森明)

- 1 冠動脈バイパス術におけるグラフト評価としての Transit flow meter の有用性
(森島学、金光ひでお)
- 2 内視鏡を用いた大伏在静脈グラフト採取の利点と欠点
(森島学、金光ひでお)
- 3 Cryo ablation による肺静脈隔離の遠隔期成績
(森島学、金光ひでお)
- 4 感染性心内膜炎の至適手術時期の検討
(森島学、金光ひでお)
- 5 総大腿動脈病変に対する内膜摘除術の遠隔予後
(森島学、金光ひでお)
- 6 心臓手術術前 MRI による頭部評価は術後脳合併症の発症抑制に繋がる
(森島学、金光ひでお)
- 7 ヒト iPS 細胞を用いた異種動物由来ヒト化自己成長型血管グラフトの開発
(科学研究費助成事業 2022-2024 年度 基盤研究(C))
(金光ひでお)